

水産油脂資源講演会 開催リスト(2005～2014年)

年度	テ ー マ	講 師 (所属等講演当時)	
2014	資源の増減が地域経済に与える影響の評価法 ー釧路市におけるマイワシを事例にー	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 経営経済研究センター 漁業管理グループ	研究員 金子 貴臣
	近年におけるサンマ分布の変化と資源の動向 について	(独)水産総合研究センター 東北水産研究所 資源海洋部 浮魚・いか資源グループ	主任研究員 巢山 哲
	東南アジアの水産事情 ー日本との水産貿易の視点からー	広島大学大学院 生物圏科学研究科 生物資源科学専攻 食料資源経済学講座	教授 山尾 政博
2013	高度回遊性魚類の資源評価の仕組み ー主なまぐろ類の例ー	(独)水産総合研究センター 国際水産資源研究所 くろまぐろ資源部 くろまぐろ生物グループ	研究員 山崎 いづみ
	水産養殖の現状と将来展望 ー輸出の可能性についてー	近畿大学 農学部 水産学科	准教授 有路 昌彦
	マイワシ・サバ類の資源動向 ーマイワシを中心としてー	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源管理研究センター 資源評価グループ	グループ長 川端 淳
2012	三陸沿岸における水産加工業の現況と復興	東京海洋大学 海洋科学部 海洋政策文化学科	准教授 濱田 武士
	マイワシ資源と気象変動 ーハワイ沖の風との関係ー	(独)水産総合研究センター 東北水産研究所 資源海洋部 生態系動態グループ	グループ長 齊藤 宏明
	原発事故に伴う放射性物質の海洋生物汚染	東京海洋大学 海洋科学部 海洋環境学科	教授 石丸 隆
2011	サンマの資源動向 ー今年の漁期前調査結果ー	(独)水産総合研究センター 東北水産研究所 八戸支所 資源生態研究室	主任研究員 巢山 哲
	ズワイガニの漁業管理 ー北米と日本の事例ー	福井県立大学 海洋生物資源学部 海洋生物資源学科	准教授 東村 玲子
	クロマグロ養殖魚の現状と課題	近畿大学 水産研究所 浦神実験場	教授 小野 征一郎
2010	カタクチワシ太平洋系群の資源動向 および利用高度化に関する最近の研究	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 生態特性研究室	主任研究員 久保田 洋
	養魚用配合飼料における魚粉代替の可能性	東京海洋大学 海洋科学部 海洋生物資源学科	教授 佐藤 秀一
	バランスの取れた漁業・養殖生産を考える	国立大学法人 鹿児島大学 国際戦略本部	教授 加藤 泰久
2009	温暖化に負けない漁業をめざして	北海道大学大学院 水産科学研究院 海洋生物資源科学部門 資源生態学領域	教授 桜井 泰憲
	サンマの資源動向	(独)水産総合研究センター 東北水産研究所 八戸支所 資源生態研究室	室長 上野 康弘
	今年のサバ類の資源動向	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 資源動態研究室	主任研究員 渡邊 千夏子
2008	カタクチワシ太平洋系群の資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 生態特性研究室	主任研究員 久保田 洋
	近年のサンマの資源状況	(独)水産総合研究センター 東北水産研究所 八戸支所 資源生態研究室	室長 上野 康弘
	地球温暖化が魚類に及ぼす影響	北海道大学大学院 地球環境科学研究院 地球圏科学部門	准教授 山中 康裕
2007	カタクチワシ太平洋系群の資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 生態特性研究室	主任研究員 久保田 洋
	今年のサバ類の資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 資源動態研究室	主任研究員 渡邊 千夏子
	枯渇高騰する魚粉情勢の中、 養魚飼料はどうあるべきか	国連食糧農業機関 持続的養殖プロジェクト	専門家 中田 誠
2006	カタクチワシの資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 生態特性研究室	主任研究員 久保田 洋
	サバ類の資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 資源動態研究室	主任研究員 渡邊 千夏子
	温暖化による我が国水産生物の分布変化予 測	(独)水産総合研究センター 水産工学研究所 水産土木工学部 環境分析研究室	室長 桑原 久実
2005	カタクチワシの資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 生態特性研究室	室長 大関 芳沖
	カリフォルニアと日本のマイワシの資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 資源動態研究室	主任研究員 西田 宏
	我が国養殖業の評価と展望 ーブリを事例にー	下関市立大学 経済学部	教授 濱田 英嗣